

Fun For the Future!



バンダイナムコグループのCSR活動 2018

株式会社バンダイナムコホールディングス
URL: www.bandainamco.co.jp/
発行日 2018年8月

©BANDAI
Printed in Japan



Fun For the Future!

楽しみながら、楽しい未来へ。

エンターテインメントが社会に対してできること、それは、心が心を響かせて楽しい未来をつくることです。バンダイナムコグループは「夢・遊び・感動」をお届けする企業として、地球環境や社会とのかわりについて、「Fun For the Future! 楽しみながら、楽しい未来へ。」を合言葉に、社会とステークホルダーのよるこびにつながる活動を推進し、楽しい未来づくりに貢献していきたいと思いを。

Contents

- | | | | |
|----|----------------------------|----|--------------------------------|
| 3 | トップメッセージ | 21 | 社会貢献活動 |
| 7 | 4つのCSR重要項目別の取り組み | 25 | 会社情報ほか |
| 9 | 商品・サービスの安全と衛生 | 26 | バンダイナムコグループのCSR活動2018 WEB版のご案内 |
| 15 | 環境配慮 | | |
| 19 | コンテンツや商品の表現における社会への影響とポリシー | | |
| 20 | サプライチェーン管理 | | |



トップメッセージ



**「夢・遊び・感動」を
お届けする企業として、
楽しい未来づくりに向けた
CSR活動を推進して
いきます。**



株式会社バンダイナムコホールディングス
代表取締役社長
田口 三昭



バンダイナムコグループは、「夢・遊び・感動」を世界中の人々に提供し、「世界で最も期待されるエンターテインメント企業グループ」となることを目指しています。2018年4月からの中期計画では、「CHANGE for the NEXT 挑戦・成長・進化」を中期ビジョンに掲げ、最大の強みであるIP軸戦略*をさらに進化させ、従来のビジネスモデルや常識にこだわることなく、次のステージに進むためにあらゆる面でCHANGEをはかっています。

CSR活動においては「Fun For the Future! 楽しみながら、楽しい未来へ。」をコンセプトに掲げ、事業を通して楽しい未来づくりに向けた活動に取り組んでいます。今回のCSR活動報告は、その取り組みの一部を「バンダイナムコグループCSR重要項目」に沿ってご紹介します。

バンダイナムコグループは、商品・サービスを通じ「夢・遊び・感動」をお届けする使命に誇りと責任を持ち、楽しみながら、楽しい未来をつくる活動に取り組んでいきます。

***「IP軸戦略」とは**

IP (Intellectual Property: キャラクターなどの知的財産のこと) の世界観や特性を活かし、最適なタイミングで、最適な商品・サービスとして、最適な地域に向けて提供することで、IPの価値最大化をはかる、バンダイナムコグループ最大の強みです。



ミッション

「夢・遊び・感動」

CSRコンセプト

Fun For the Future!

楽しみながら、楽しい未来へ。

CSRへの取り組み

1. 環境・社会貢献的責任
2. 経済的責任
3. 法的・倫理的責任

コンプライアンス憲章

「適正な商品サービス・公正な取引、社員尊重、情報開示、知的財産の尊重・活用、情報・財産の保全、反社会的勢力の拒絶、環境との調和、社会との調和」に関する原則。

バンダイナムコグループのCSR重要項目

商品・サービスの安全と衛生

私たちがお届けする「夢・遊び・感動」の基盤となる商品・サービスの安全と衛生の向上について、最優先に努めていきます。

環境配慮

「夢・遊び・感動」を次の時代につなげるために、地球環境に配慮し、企業活動におけるエネルギー削減や商品・サービスにおける省資源化に努めていきます。

コンテンツや商品の表現における社会への影響とポリシー

世界中の人々へ「夢・遊び・感動」をお届けするため、「表現の自由」の尊重とともに、多様なコンテンツや商品を適切にお客様にお届けするように努めていきます。

サプライチェーン管理

私たちがお届けする「夢・遊び・感動」の質的向上のために、それぞれの事業に対応したサプライチェーンの管理向上に努めていきます。

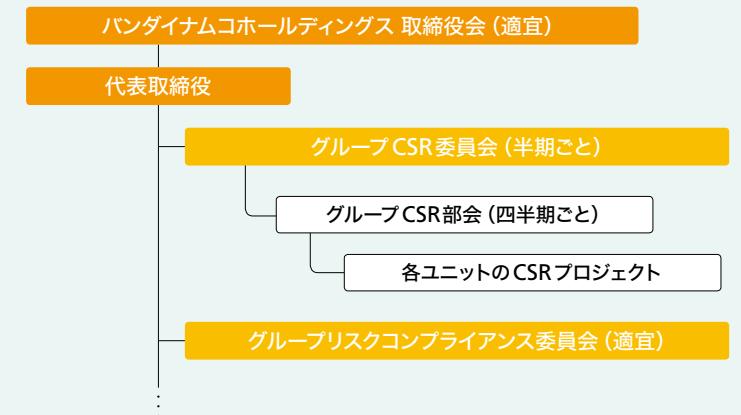
各ユニット・関連事業会社で、重点取り組みテーマを掲げ、事業を通してグループCSR重要項目に沿った活動を推進しています。



(株)バンダイナムコホールディングス



バンダイナムコグループのCSR推進体制



4つのCSR重要項目別の取り組み

バンダイナムコグループでは、グループが一体となって推進するCSR活動のうち、特に重点的に取り組む必要があるテーマを「バンダイナムコグループのCSR重要項目」とし、さらに各ユニットの活動レベルに落とし込んだ「CSR重点取り組みテーマ」を策定して、各事業の特性を活かした活動に取り組んでいます。ここでは、4つのCSR重要項目別に、バンダイナムコグループが展開する多彩な商品・サービスでの取り組みをご紹介します。



商品・サービスの安全と衛生

バラエティスポーツ施設

「VS PARK」の安全・安心

(株)バンダイナムコアミューズメントが、2018年4月にオープンしたバラエティスポーツ施設「VS PARK(ブイエス パーク)」では、お客様に安全に、安心してアクティビティを楽しんでいただけるよう、さまざまな取り組みを進めています。

ニゲキル

壁に投影された猛獣(映像)から逃げきる超短距離走です。誰でも安心して、全力で動物たちとの勝負を体験できます。

Point

10mを全力で走り切っても安全にゴールできるように、ゴールの先には大きなクッションが敷きつめられています。



VS PARKとは?

性別や運動神経にかかわらずスポーツを気軽に思い切り楽しむことができるエンターテインメント要素盛り沢山のバラエティスポーツ施設です。



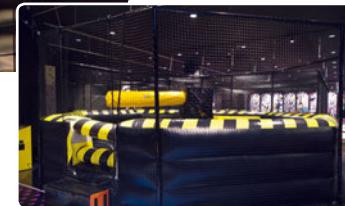
スラックライン

幅5cmの細いライン上で上手にバランスをとって楽しむ話題のスポーツです。



Point

万が一の転落を防止するため、ネットでアクティビティ本体の壁全体を覆っています。



Point

初心者でも安全に楽しめるよう、マットを通常より多く使用しています。また、細かなルール設定を行い、ケガにつながる箇所へ近づくことや危険な動きを制限しています。

Jump x Jump

回転する障害物を飛んだりしゃがんだりしながら避けるスリル満点のアクティビティです。



Run & Run

強力なゴムにつながれて、どこまで走ることができるか、二人一組の勝負が体験できるアクティビティです。

Point

本体と地面の段差を少なくすることで、アクティビティ体験前後の転倒も防いでいます。



Point

腰に装着するゴムは品質の高い日本製を2本使用することで、強度を高くし、より安心したアクティビティ体験ができます。

VOICE 担当者の声

つのだ えいいちろう
角田 英一郎

株式会社バンダイナムコアミューズメント
企画開発ディビジョン 施設開発部
第1オペレーション 開発チーム
VS PARK ストアマネージャー



「お客様と一緒に楽しむ」をコンセプトに、安全・安心を常に意識した施設運営を心がけています。「VS PARK」は身体を動かすアクティビティが多いため、事前研修としてスタッフ自身がすべてのアクティビティを体験することで、特に安全に配慮すべき箇所を把握するよう努めています。常にお客様が安心して楽しめるように目を配りながら、一緒に施設全体を盛り上げています。

商品・サービスの安全と衛生

安全で安心できる商品づくり —おもちゃの例—

(株)バンダイでは、「安全で安心できる商品づくりに徹し、世界中のお客様から信頼と満足を得られる商品を提供すること」を方針に掲げ、品質の維持・向上に向けた、おもちゃの検査と表示などに取り組んでいます。



おもちゃの検査

安全性や耐久性などを確認するため、約370の検査項目の中から、それぞれのおもちゃの特性に応じた検査を行っています。また、法律や業界の品質・安全基準を踏まえて、より厳しい自社の品質基準を設定し、さまざまな試験も行っています。



Check!

ボタンの耐久性試験

長時間ずっと動かし続けても、こわれたり、性能や品質が変わらないように検査

Check!

溶出検査

なめてしまっても身体に害が出ないように、水銀などの金属が入っていないかおもちゃの成分を検査



Check!

おもちゃを落下させる衝撃試験

おもちゃを落としても、こわれることがないかどうか、衝撃に対する強度を検査



Check!

誤って電流が流れないか検査

発熱して火傷をしないように、電池を逆に入れても電気が流れないかを検査



おもちゃの表示

安全に安心して遊べるように、守っていただきたいことを警告や注意表示としてパッケージに表示しています。

パッケージ表示例



Point

ピクトグラム

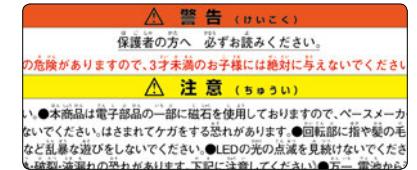
子どもでも危険が一目で分かるように、絵や記号・マークを使って表示



Point

警告・注意表示

ケガなどをしないように、特に気を付けるべき項目を目立つように表示



Point

対象年齢

安全に安心して遊べるように、おもちゃの対象年齢を表示

対象年齢3才以上

Point

STマーク

一般社団法人日本玩具協会の「おもちゃ安全基準」に合格したおもちゃには、パッケージに「ST」マークを表示



安全で安心できる商品づくり — 業務用ゲームの例 —

(株)バンダイナムコアムーズメントでは、お客様をはじめ製品にかかわるすべての方の安全性を確保するため、開発、生産、品質保証、サービスなど、さまざまな部署による安全性検証 (Safety Review) を実施しています。

機動戦士ガンダム エクストリームバーサス2



Point

ヘッドホンを利用するお客様に対し、意図しない大音量が突然出ないように安全に配慮した設計になっています。

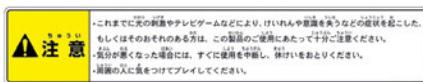
Point

筐体が店舗で運営されるまでの運搬や設置作業に危険はないか、事前に検証を行っています。



Point

光感受性発作への対策として、社内ガイドラインを定め安全な製品開発をするとともに、お客様に対し、注意を促す表示を行っています。



↑ 光感受性発作の注意喚起を記載したステッカー



Point

お客様や店舗にかかわるスタッフの安全を守るため、取扱説明書などにより、製品の安全な取扱いに関する情報提供を行っています。



VOICE 担当者の声

お客様の笑顔のために、私たちは安全で安心して楽しめる製品になるよう活動しています。既存の 카테고리はもちろんのこと、新たな事業領域のチャレンジにも対応するため、日々安全・安心に関する情報収集を行い、タイムリーに製品開発に役立てるよう努めていきます。



↑ 安全性検証 (Safety Review) の様子

はまだ ゆうじ
浜田 雄二
株式会社バンダイナムコアムーズメント
マーケティングディビジョン
ビジネスマネジメント部 品質保証課



ライブ・イベントのセキュリティチェック

多くのお客様が来場する一部のライブやイベントでは、お客様に安全に安心して楽しんでいただけるよう、手荷物検査や本人確認にご協力いただくなど、セキュリティ対策を導入しています。



「バンダイホビーセンター」における環境配慮

静岡県静岡市にある(株)BANDAI SPIRITSの国産プラモデル生産拠点「バンダイホビーセンター」では、国内で販売しているすべてのプラモデルを生産する中で、環境に配慮したさまざまな取り組みを行っています。



自然資源の削減

バンダイホビーセンターは、地球環境にやさしいグリーンファクトリーを目指しています。

太陽光発電

工場の外壁に設置された大型ソーラーパネルでは、年間56,000kWhを超える太陽光発電を行っており、工場内の約5%にあたる電力をまかなっています。



水の再利用

2トンの貯水容量を誇る工場の地下にある雨水貯水施設では、蓄えた雨水や井戸水を浄化装置でろ過し、洗浄水として工場内のトイレで再利用しています。これにより、年間約2,000トンの水を再利用しています。



素材のリサイクル (KPS)

プラモデルの素材には、ポリスチレンメーカーと共同で開発した強化ポリスチレン(KPS)を多く使用しています。KPSは他のポリスチレン材と一緒にリサイクルが可能だけでなく、プラモデルに欠かせない強度と柔軟性を両立しています。



↑ KPSペレット素材



← KPSを用いた成形例

リサイクルができる

産業廃棄物として端材を処理していた従来の素材と比べ、KPSは工場内でリサイクルが可能です。

強度と柔軟性を両立

リサイクルのできなかった従来の素材と同等の強度を誇るだけでなく、180度曲げても折れることのない柔軟性をあわせ持っています。



VOICE 担当者の声

2006年3月から稼働しているホビーセンターは、ソーラーエネルギー、雨水利用を行う地球にやさしい生産工場です。企画から設計・金型・成形・生産・品質管理を行っており、環境への配慮を行いながら、商品をゼロから生み出す機能を持ちあわせています。社員の制服や、成形機は、キャラクター風の遊び心あるデザインを採用しています。

ホビーセンターから生み出された商品は、世界中で販売されています。これからも年齢・エリアの異なるお客様の心を満たす、「あっ」と言わせる商品を作り続けていきます。

つっい よしたけ
筒井 慶剛

株式会社BANDAI SPIRITS
ホビー事業部
デビュティゼネラルマネージャー



「エコメダル」を用いた取り組み

「エコメダル」とは、(株)バンダイをはじめとする玩具ホビーユニットの所属会社が行っている環境ラベルの取り組みで、独自の基準をクリアした、環境へ配慮した製品・サービスに付与しています。エコな工夫が、どこに、どのように取り入れられているか、分かりやすく説明するラベルをパッケージなどに表示しています。

ミニプラ キュータマ合体シリーズ03 リュウテイオー

部品をつなぐランナーを細くすることで、組み立て後に捨てるプラスチックの量が20% (当社従来比) 少なくなりました。また、箱の内側に取扱説明書を印刷し、紙資源を節約しています。



カプキャラ くまのがっこう

キャラクターの顔型のカプセルと、その中に入っている体などのパーツを組み立てるとフィギュアになるように設計することで、これまで捨ててしまっていたカプセルをおもちゃの一部として遊べるようにしています。



人と地球にやさしい物流

バンダイナムコグループの物流機能を担う(株)バンダイロジパルと(株)ロジパルエクスプレスでは、地球環境にやさしい技術の向上を目指したエコドライブの講習会の実施や、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団主催の「エコドライブ活動コンクール」に参加するなど、安全や環境に配慮した取り組みを行っています。



↑ エコドライブ講習会の様子

VOICE 担当者の声

現在のトラック運送事業において、安全運転は当然ですが環境に配慮した運転も求められています。当社においてもエコドライブ活動を2003年より始めており、毎年ドライバーへの教育を実施し、日々の業務で実践しています。今後も日々の積み重ねにより少しでもCO₂の削減ができるようエコドライブに努めています。



あかいしざわ まこと
赤石澤 慎
株式会社ロジパルエクスプレス
業務統括部 運輸業務部 輸送業務課

ライブ・イベントにおける環境配慮

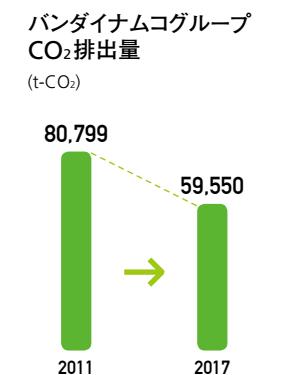
(株)バンダイナムコライブクリエイティブでは、ライブ・イベントの照明にLEDを積極的に利用し省エネを図っているほか、会場では、オリジナルのエコバッグや繰り返し使える電池式のペンライトなど、再利用可能なライブグッズの販売に努めています。



← 照明をLED化したライブ Kiramune Music Festival 2018 (横浜アリーナ)

CO₂排出量削減への取り組み

バンダイナムコグループでは、各事業分野において年度ごとにCO₂排出量の削減目標を設定し、エコに関する取り組みを通じた削減努力を行っています。2017年度のグループ全体の排出量は2011年度対比26.2%の削減となる59,550t-CO₂となりました。なお、2018年度からは、総排出量管理とともにユニットごとに原単位による管理も導入し、CO₂排出の抑制に努めています。



適切な商品・サービスの提供に向けた取り組み

「表現の自由」を尊重しつつ、適切な表現のもと商品・サービスの提供が行えるよう、各種研修やグループ会社間での情報共有を推進するとともに、社外に向けてもその啓発活動に取り組んでいます。



倫理表現に関する取り組み

バンダイナムコグループでは、各ユニットにおいて倫理表現に関する各種研修を社員向けに実施しています。また、最新情報や過去の事例、時勢に基づいた勉強会の開催や社員向けメールマガジンの配信を行うなど、倫理表現に関する情報共有を推進しています。



↑ 倫理表現に関する勉強会の様子



中国における知的財産保護講座

● 知的財産保護の取り組み*

中国・上海を拠点とするBANDAI NAMCO (SHANGHAI) CO., LTD.では、上海市の複数の大学で、知的財産保護に関する啓発を目的とした講座を開いているほか、海賊版撲滅活動に取り組んでいます。2017年度は約600名の学生に対して講義を行い、知的財産保護の重要性について働きかけを行いました。

* 2018年度より、本取り組みは
BANDAI NAMCO Holdings CHINA CO., LTD.へ移管

サプライヤーと一体となった商品づくり

取引先工場において、独自の監査・審査を実施しているほか、サプライヤーカンファレンスや取引先専用サイトなどを通じて情報の発信・共有を行い、取引先と一体となって、法令遵守や品質の維持・向上に努めています。



BFA 監査

バンダイでは、バンダイ製品を生産する海外最終梱包工場(2017年度は174工場)において、「新規工場監査」と「COC*監査」を一元化した「BANDAI Factory Audit (BFA)」を実施しました。

* COC: Code of Conduct (行動規範)



↑ 中国取引先工場でのBFA実施の様子



↑ サプライヤーアワード(上海会場)の様子

サプライヤーカンファレンス/アワード

バンダイでは、国内外の玩具関連の法改正に伴う安全基準や、バンダイが独自に定める品質基準の情報共有などを行う「サプライヤーカンファレンス」を毎年実施しています。(2017年度は東京、上海、深圳の3会場で開催)また、バンダイが設ける評価指標に対して高いレベルを維持しているサプライヤーを表彰する「バンダイサプライヤーアワード」を制定し、取引先と一体となって労働環境や品質面の向上に努めています。表彰されたサプライヤーには、現場での取り組みについて他のサプライヤーへ講演を行っていただき、ノウハウを共有しています。

社会貢献活動

バンダイナムコグループの被災地支援活動

東日本大震災 被災地支援

バンダイナムコグループでは、2011年より岩手県・宮城県・福島県の各地で、東日本大震災被災地の子どもたちに向けた活動を継続して実施しています。

絵本シリーズ「くまのがっこう」をテーマとした工作教室や、プラモデル教室の開催など、バンダイナムコグループらしさを活かした活動を行っているほか、株主様とともに公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンへ毎年合計1,000万円を寄付しています。この寄付金は東日本大震災被災地の子どもたちへの支援活動資金として活用されています。

岩手県下閉伊郡山田町



くまのがっこう
工作教室

宮城県石巻市



プラモデル教室

福島県相馬市



プラモデル教室

次世代を担う人づくりへの取り組み

出前授業

バンダイの出前授業

(株)バンダイでは、子どもたちにとって身近な存在である「おもちゃ」をテーマに、エコやユニバーサルデザイン、安全・安心への取り組みについて学ぶ出前授業を、小学校を中心に行いました。



バンダイナムコエンターテインメントの出前授業

(株)バンダイナムコエンターテインメントでは、全員参加型のエコクイズや自転車などによる発電実験など、「電気」「省エネ」をテーマとした出前授業を実施しました。



子どもたちの環境学習・活動支援

バンダイナムコグループは、子どもたちが自主的に環境活動や環境学習を行う「こどもエコクラブ」のパートナーとなり、各種活動への協賛を行っています。また、環境学習の場として、グループ社員とその家族も活動に参加しています。

こどもエコクラブとは？

公益財団法人日本環境協会が、環境省の後援および文部科学省の支援のもと、地方自治体や企業・団体と連携を図りながら、子どもたちの環境活動を支援する事業で、全国約1,800クラブ、約10万人が会員となっています。(2018年3月現在)



田植え体験の様子
(主催：こどもエコクラブ登録クラブ「いきものみっけファーム」)

小中学校の校外活動の受け入れ

(株)サンライズでは、小中学校における校外活動を受け入れ、会社見学やアニメ制作における基礎知識の講義を実施しています。



社会貢献活動

アニメの舞台となった地域における取り組み

【ガールズ & パンツアー】

(株)バンダイナムコアートでは、自社がプロデュースを行うアニメ「ガールズ & パンツアー」にゆかりのある地域の活性化を支援しています。

【大洗あんこう祭】→

舞台となっている茨城県東茨城郡大洗町の地域イベント「大洗あんこう祭り」(2017年11月開催)では、出演キャストによるトークショーや関連グッズの販売など行っています。



←【坂本龍馬 書簡貸出セレモニー & トークショー in 高知】

作品の舞台・大洗町にある「幕末と明治の博物館」が所属する、坂本龍馬の書簡を「高知県立坂本龍馬記念館」に貸し出す際、同アニメに登場する4人のキャストがその特使として選ばれセレモニーに参加しました。

【ラブライブ! サンシャイン!!】

(株)サンライズがアニメ制作を行う「ラブライブ! サンシャイン!!」では、舞台となる静岡県沼津市の地域活性化を支援しています。地域のお祭りへの参加、市内のさまざまな店舗にスタンプを設置しての「まちあるきスタンプ」、謎解きイベント、バスやタクシー、電車、船へのラッピングなど、地域の方々と一緒に「ラブライブ! サンシャイン!!」の舞台である沼津市を盛り上げています。

【沼津こいのぼりフェスティバル】→

沼津のお祭りのひとつ、こいのぼりフェスティバルに同アニメの鯉のぼりを作成して掲揚しました。鯉のぼりは地元の幼稚園と地元企業が共同で製作し、園児の手形を押してデザインしています。



← 路線バスへのラッピング

海外での取り組み

【アメリカでの取り組み】

アメリカ・カリフォルニア州を拠点とするBANDAI AMERICA INC.では、アメリカ社会に貢献することを目的に、1995年からBANDAI FOUNDATIONという財団を設立し、寄付や社員によるボランティア活動などを通して、アメリカの子どもたちとその家族が生活し遊ぶ環境を改善するための慈善活動を支援しています。

取り組み例

2017年1月にカリフォルニア州にある子ども病院にレコーディングスタジオを開設。音楽を通じたケアを提供できる環境を整備しました。



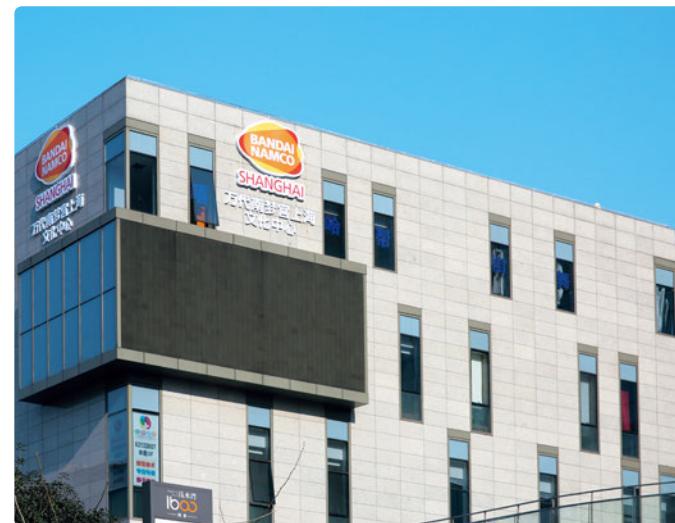
【中国での取り組み】

バンダイナムコグループでは、中国において事業を展開するとともに、楽しい社会の実現に向けたさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

取り組み例

【BANDAI NAMCO SHANGHAI BASE】

上海市には、「バンダイナムコ」の名前を冠した「BANDAI NAMCO SHANGHAI BASE」というイベントホールがあります。これは中国の文化産業に貢献することを目的としたもので、変化し続ける中国のエンターテインメント市場において、時代のニーズにあわせたコンテンツ発信の場として活用されることを目指しています。



会社情報ほか

会社概要 (2018年3月31日現在)

- ❖ 社名
株式会社バンダイナムコホールディングス
- ❖ 本店所在地
〒108-0014
東京都港区芝5-37-8
バンダイナムコ未来研究所
- ❖ 資本金
100億円
- ❖ 事業内容
・バンダイナムコグループの中長期経営戦略の立案・遂行
・グループ会社の事業戦略実行支援・事業活動の管理
- ❖ グループ社員数
7,871名
- ❖ 連結対象会社数
子会社76社
持分法適用会社5社

編集方針

「Fun For the Future! バンダイナムコグループのCSR活動 2018」(本冊子)はグループ全体のCSR(社会的責任)に関する具体的な取り組みの事例を、ステークホルダーの皆様に分かりやすく報告することを目的に発行しています。

「バンダイナムコグループのCSR重要項目」をもとに各ユニットで策定している取り組みとその活動報告、より詳細な情報につきましては、当社公式ホームページでご確認いただけます。

対象期間

2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)

※一部、最新情報も掲載。

対象範囲

持分法適用会社を除く連結対象会社

くまのがっこう

バンダイナムコグループの(株)キャラ研が手がける人気絵本シリーズ「くまのがっこう」は、女の子くまジャッキーと11匹のおにいちゃんくまが繰り広げる日常を描いた物語です。“何気ない一日の幸せ”を大切にしたいが、私たちのCSR活動と重なり、ジャッキーをイメージキャラクターとして、CSRコンセプト「Fun For the Future! 楽しみながら、楽しい未来へ。」を広くアピールしています。



バンダイナムコグループのCSR活動2018 WEB版のご案内

バンダイナムコグループでは、本冊子の報告内容に加えて、社会・環境の側面に関する具体的な取り組みについてホームページ上で詳しく報告しています。

WEB版 <https://www.bandainamco.co.jp/social/index.html>



WEB CONTENTS

- CSRへの取り組みトップ
- 各重要項目における取り組み
- 地域社会とともに
- 社員とともに
- コーポレートガバナンス
- コンプライアンス
- CSR ニュース
- CSRライブラリ
- 英国現代奴隷法への対応

CSRライブラリ

CSRの取り組み紹介冊子や環境・人事関連情報をまとめたデータベースをご覧いただけます。

